

ロシア語前置格第2形の使用に関するコーパス分析

秋山 真一

(東京外国語大学大学院博士後期課程)

はじめに

現代ロシア語は言語類型論の観点から融合的 *fusional* または屈折的 *flectional* な言語に数えられており (Comrie1989: 44-45), 名詞は大半が性 (男性・女性・中性), 数 (単数・複数), 格 (主格・生格・与格・対格・造格・前置格) による変化をすることが知られている。こうした名詞の変化はパラダイムを構成しており, 規則的に変化する。

現代ロシア語の名詞変化パラダイムにおいて, 語尾 *-ий* をもつ男性名詞, 語尾 *-ия* または語尾 *-ь* をもつ女性名詞, 語尾 *-ие* または語尾 *-мя* をもつ中性名詞を除き, 名詞は単数前置格において語尾として *-e/* (表記上でも *-e* として現れる) を有する。しかしながら, 一部の男性名詞には前置格の格語尾ヴァリエントとして *-y/* (表記上 *-y* または *-ю* で現れる) をもつものもある。この語尾 *-y/* をもつ単数前置格形を本稿では前置格第2形と呼ぶことにする。

名詞の前置格形は必ず前置詞と結合して用いられる。前置格を支配する前置詞には *в, на* のほか, *о, по, при* があるが, 前置格第2形を支配できる前置詞は *в, на* のみである。

例: 「作業場」 *цех* (Sg.Nom.) — (*в*) *цехе* / (*в*) *цеху* (Sg.Prepos.)

しかし, (*о*) *цехе* / *(*о*) *цеху* (Sg.Prepos.)¹

これらの前置格第2形を持ち得る男性名詞は非生産的なものであり, それぞれが個別に決まっている。現代ロシア語において何語存在するかは各々の先行研究によって異なるが, 大体 100 語前後であるとされている。こうした前置格第2形をもつ男性名詞に関し, 前置詞 *в, на* と共起する際に前置格第2形の使用される比率を, コーパスデータを用いて分析することが本稿の目的である。

コーパスを手段として計量的なデータをとることにより, 理論的側面よりもむしろ用法 *usage* の観点から前置格第2形を記述することが主眼となる。

1. 先行研究

男性名詞前置格形のヴァリエントについて, データに基づく考察をしたものの代表とし

¹ 略号一覧 Sg.:singular 単数, Nom.:Nominative 主格, Prepos.:Prepositional 前置格
また, 慣例に従い, 文法的な誤用には語頭に* (asterisk) を付す。

て GPRR1976 が挙げられる。そこでは前置格第 2 形を持ち得る語について 1960～70 年代の新聞から 655 例のデータが収集され、その結果として【表 1-1】にあるように語尾/-e/をもつ例が 443 例、語尾/-y/をもつ例が 212 例あったとされている。百分率も示されており、語尾/-e/をもつ例が 67.63%、語尾/-y/をもつ例が 32.37%となっている(GPRR1976:134-137)。

【表 1-1】 GPRR1976 による男性名詞前置格形の語尾/-e/と語尾/-y/の比率

語尾/-e/	443 例	—	212 例	語尾/-y/
	(67.63%)		(32.37%)	

また、RG1979 は男性名詞前置格の語尾/-y/をもつヴァリエント、つまり前置格第 2 形を「特殊な специальные」格語尾と呼び、慣用句や準慣用句的に用いられるものを除いて有標 маркированные 項であるとしている。そしてそれに対する語尾/-e/をもつヴァリエントが無標 немаркированные 項であるとしている。(RG1979 : 300-301)。

RG1979 は前置格第 2 形を取り得る男性名詞として 73 語を挙げている (RG1979 : 455)。

GPRR1976 の改訂版である GPRR2001 によると、前置格第 2 形を持ち得る男性名詞には以下の 3 つの特徴があるとしている。

- ① 主として 1 音節からなる語幹をもつ名詞
- ② 単数形において力点 (アクセント) が語幹にある一方で、複数形においては力点が語尾に移る名詞
- ③ 不活動体名詞

また前置格第 2 形を持ち得る男性名詞のうち、2 音節以上の語幹を持つ語についてはそれほど数が多くなく、また、主として語尾/-e/をもつヴァリエントの方が用いられるとしている。語尾/-y/をもつ前置格第 2 形については、会話体・俗語・方言などの文体差が認められるものとして挙げられている語もある。

その他に男性名詞前置格形のヴァリエントについて以下の 3 点を挙げている。

- ① 慣用句においては、それぞれに用いられる語尾が決められている。
- ② いくつかの語彙について、語尾/-e/をもつものは文体的に書き言葉的であるか、または中立的であり、語尾/-y/をもつものは文体的に話し言葉的であり、会話や俗語といったニュアンスを持つ。
- ③ 名詞が形容詞と結合して用いられるとき、ふつうは文語においても口語においても語尾/-e/をもつものが用いられる。

RG1980 では単数前置格形のヴァリエントについて以下のように述べられている。

- ① 前置格第 2 形を持ち得る名詞は、単数形および複数主格形において力点 (アクセント) が語幹にある。
- ② 一部の語句においては、語尾/-y/をもつ形態の使用が優勢である。
- ③ 一部の語句においては、語尾/-e/をもつ形態と語尾/-y/をもつ形態が対等の関係にあ

る。

- ④ 語尾/-e/をもつ形態は文体的・意味論的に文語的または擬古的であり、語尾/-y/をもつ形態は文体的に中立であるか、会話・業界用語・専門用語などにおいて用いられる。
- ⑤ 名詞が一致定語（形容詞など）と結合して用いられるとき、語尾/-e/をもつ形態の方がより好まれる。

上述の先行研究いずれにおいても、前置格第2形を持ち得る男性名詞が挙げられているが、それぞれに多少の相違がある。それぞれの先行研究において挙げられている語について以下の【表 1-2】にまとめた。

【表 1-2】 先行研究別に見た前置格第2形を持ち得る男性名詞

辞書掲載形・意味	RG 1979	RG 1980	GPRR 1976	GPRR 2001
ад 地獄	○	○	○	○
аэропорт 空港	×	×	○	○
баз 家畜小屋	×	×	○	○
бал 舞踏会	○	○	○	○
бег 走ること	○	×	○	○
берег 岸	○	○	○	○
бережок 岸（指小）	×	×	○	○
бой 戦闘	○	○	○	○
бок 脇腹	○	○	○	○
бор 松林	○	○	×	×
борт 舷側	○	○	×	×
бочок 脇腹（指小）	×	○	×	×
бред うわ言	○	○	○	○
быт 生活様式	○	○	○	○
вал 土塁・シャフト	○	○	○	○
век 世紀	×	○	×	×
верх 頂上	×	○	×	×
ветер 風	○	×	○	○
вечер パーティー	×	×	○	○
вид 種類	○	×	×	×
воз 荷馬車	×	○	×	×
вольт 巻き乗り	×	○	×	×
ворот 襟	×	×	○	○
ворох たくさん	×	×	○	○

газ	ガス	×	×	○	○
глаз	目・視線	○	○	○	○
гной	膿	×	×	○	○
год	年	○	○	○	○
горб	こぶ・隆起	○	○	○	○
горн	溶鉱炉	×	×	○	○
город	都市	×	×	○	○
гроб	棺	○	×	○	○
грунт	基盤	×	×	○	○
долг	義務	○	○	○	○
дом	家	×	×	○	○
Дон	ドン(川)	○	○	×	×
дуб	柏・オーク類	○	×	○	○
дым	煙	○	○	○	○
жар	暑さ	○	○	○	○
жемчуг	真珠	×	×	○	○
жир	脂肪	○	○	○	○
зад	背部	×	○	○	○
зоб	餌袋	○	×	○	○
зуб	歯	×	×	○	○
катер	小船	×	×	○	○
квас	クワス	×	×	○	○
китель	制服	×	×	○	○
клей	のり・にかわ	○	×	○	○
Клин	クリン(地名)	×	○	×	×
кол	杭	×	○	○	○
кон	基線	×	○	○	○
корм	飼料	○	×	○	○
короб	かご・車体	×	×	○	○
корпус	建物	×	×	○	○
край	端・地方	○	○	○	○
крейсер	巡洋艦	×	×	○	○
круг	円・サークル	○	○	○	○
крюк	鉤・ホック	×	×	○	○
Крым	クリミア	○	○	×	×
кузов	かご	×	×	○	○
купол	円屋根	×	×	○	○
куст	灌木	×	×	○	○

лад	平和・親睦	○	×	×	×
лѣд	氷	○	○	○	○
лес	森	○	○	○	○
лоб	額	○	○	○	○
лог	峡谷	×	×	○	○
луг	牧場	○	○	○	○
мѣд	蜂蜜	○	○	○	○
мел	チョコレート	○	○	○	○
мех	毛皮	○	○	○	○
мир	宇宙／平和	×	○	○	○
мозг	脳	○	○	○	○
мол	防波堤	×	○	○	○
мост	橋	○	○	×	×
мох	苔	○	○	○	○
мыс	岬	×	×	○	○
мысок	岬 (指小)	×	×	○	○
наст	クラスト層	×	×	○	○
невод	漁網	×	×	○	○
низ	下部	×	○	×	×
нос	鼻	○	○	○	○
округ	行政管区	×	×	○	○
омут	淵	×	×	○	○
остров	島	×	×	○	○
отпуск	休暇	×	○	○	○
паз	溝	○	○	○	○
пай	持ち分	×	○	○	○
пар	蒸気	○	○	○	○
пах	鼠径部	×	○	○	○
перёд	前面	×	○	×	×
песок	砂	×	×	○	○
пир	祝宴	○	○	○	○
пласт	地層	×	×	○	○
плац	練兵場	×	○	○	○
плен	捕われの身	○	○	○	○
плот	筏	○	○	○	○
повод	手綱	○	×	×	×
погреб	穴蔵	×	×	○	○
под	炉底	×	○	○	○

поезд 列車	×	×	○	○
пол 床／性別	○	○	○	○
полк 連隊	○	○	○	○
полог 幕	×	×	○	○
порт 港	○	○	○	○
пост 精進	○	○	○	○
пот 汗	○	○	○	○
пояс 腰	×	×	○	○
промысел 稼業	×	×	○	○
пруд 池	○	○	○	○
пух 羽毛	○	○	○	○
пыл 炎	○	○	○	○
рай 天国	○	○	○	○
рант 細草	×	○	×	×
ров 溝	○	○	○	○
род 一族	○	○	×	×
рой 群れ	×	○	○	○
рот 口	○	○	○	○
ряд 列／一連	○	○	○	○
сад 庭	○	○	○	○
свет 光／世界	×	○	○	○
скит 独房	×	○	○	○
след 足跡	×	○	○	○
слой 層	×	○	○	○
смотр 閱兵式	×	×	○	○
снег 雪	○	○	×	×
сок ジュース	○	×	×	×
спирт アルコール	×	○	○	○
стан 野營地	×	×	○	○
стог 干草	×	○	○	○
строй 隊列	×	○	○	○
суд 裁判所	×	×	○	○
сук 大枝	○	○	○	○
суп スープ	×	○	○	○
сыр チーズ	×	○	×	×
таз 骨盤	○	×	○	○
терем 御殿	×	○	○	○
тиф チフス	×	○	×	×

ток 求愛の鳴き声	○	○	○	○
торг 市場	×	○	○	○
тыл 背面	○	○	○	○
тын 柵	×	×	○	○
угол 角	○	×	○	○
уголок 角 (指小)	×	×	○	○
узел 結び目	×	×	○	○
форт 堡壘	×	○	○	○
хлев 家畜小屋	○	×	○	○
хмель ホップ	×	○	○	○
ход 動き	×	○	○	○
холм 丘	×	×	○	○
холод 寒さ	×	○	○	○
хор 合唱	×	○	○	○
хутор 小部落	×	×	○	○
цвет 花	×	○	○	○
цех 作業場	×	○	○	○
чад 煙	○	○	○	○
чай 茶	×	○	○	○
чан 大樽	×	○	○	○
час 時間	○	○	○	○
череп 頭頂	×	×	○	○
чин 官位	×	×	○	○
шаг 行動	×	○	○	○
шар 球	×	×	○	○
шест 竿	×	×	○	○
шёлк 絹糸	○	○	○	○
шкаф 戸棚	○	○	○	○
шлях 街道	×	○	○	○
шрифт 活字	×	○	×	×
шум 騒音	×	×	○	○
якорь 錨	×	×	○	○
яр 断崖	×	○	○	○

【全 161 語】

GPRR1976 と GPRR2001 との間に掲載語に関する相違はみられなかった。

GPRR1976 および GPRR2001 に掲載されている語が多いが、これは GPRR1976 および GPRR2001 が語尾/-e/をもつヴァリエントしか認めていない語も掲載していることに起因する。前置格第 2 形をあつかう記述の中において「語尾/-e/をもつヴァリエントしか認めな

い」ということは矛盾するようにも感じられるが、語尾/-y/をもつヴァリエントが誤用であるとしているものと思われる。今回のコーパス分析ではそうした語も含んだ上で、【表 1-2】に掲載した語すべてを検索対象とした。

また、GPRR2001 および RG1980 における指摘に則り、これらの検索語彙に以下の 5 つの下位分類をもうけた。

- ① /-y/をもつ形態は認められず、/-e/をもつ形態のみが容認されるもの
例： в городе / *в городу 「都市」(GPRR2001 : 196)
- ② /-y/をもつ形態のみ容認されるか、または/-y/をもつ形態の使用が優勢 преобладает であるもの
例： *в носе / в носу 「鼻」(GPRR2001 : 196) (RG1980 : 488)
- ③ /-e/をもつ形態と/-y/をもつ形態の両ヴァリエントともに対等に用いられるもの
例： в крае / в краю 「端・地方」(GPRR2001 : 196) (RG1980 : 488)
- ④ /-e/をもつ形態と/-y/をもつ形態のどちらか一方に、文体的差異が認められるもの
例： в отпуске 「休暇」(文体的に中立的)
 в отпуску 「休暇」(文体的に口語的) (GPRR2001 : 196)
- ⑤ /-e/をもつ形態と/-y/をもつ形態のどちらか一方の形態が意味論的な差異をあらわしているもの
例： в мире 「宇宙」「平和」
 в миру 「俗世」(RG1980 : 488)

上記⑤に関しては今回の分析から除外した。また、①～④の分類について、先行研究によりその分類が相違を見せた場合には RG1980 の指摘を優先した。

2. コーパスデータ

今回の調査は既存のコーパスデータに基づいて行うものとし、現代ロシア語の定義のひとつである Ушаков のロシア語辞書編纂後²という基準を採用するため、使用するデータとしてはスウェーデンにあるウプサラ大学の現代ロシア語コーパス The Uppsala Corpus of modern Russian (以下、ウプサラコーパス)を主に用いた。ウプサラコーパスの総語数は 100 万語である。

文体的な特徴として口語的 разговорный であるとされている語については、ドイツのテュービンゲン大学のホームページ上にあるロシア語インタビューコーパス The corpus of Interviews も用いた。総語数は不明。

今回の分析はインターネットを通じてこのテュービンゲン大学のサイトからウプサラコーパスおよびロシア語インタビューコーパスのデータを複合検索 complex query によって検索した。同ホームページ上ではタグ付けされたウプサラコーパスの検索も可能である

² 辞書の出版は 1935-40 年

が、タグの情報に誤りが散見されたため、検索後のデータ収集は手作業で行った。

検索方法などの詳細については、小林（2003：79-85）を参照した。

3. 検索結果と分析

第1章の最後において掲げた4つの語彙分類に基づいたアップサラコーパス検索結果を以下に示す。引用数は語単位でカウントした。ただし、語尾/-e/をもつ形態と語尾/-y/をもつ形態とがともに0例であった場合には表から削除した。

3.1 分類① /-y/をもつ形態は認められず、/-e/をもつ形態のみが容認されるもの

この分類に該当する男性名詞として検索を行った語は以下の32語。

вечер, ворот, ворох, горн, город, жемчуг, катер, китель, короб, корпус, крейсер, кузов, купол, куст, невод, округ, омут, остров, песок, погреб, поезд, полог, пояс, промысел, суд, хутор, череп, чин, шар, шест, шум, якорь

これらの検索語彙の中から、1例以上の例文を収集できた語について、それぞれの形態別例文数とその比率を以下の【表3-1】に示す。

【表3-1】分類①の語彙のアップサラコーパス検索結果

辞書掲載形	語尾/-e/			語尾/-y/		
	形態	例文数	比率	形態	例文数	比率
вечер	(на) вечере	2	100.00%	(на) вечеру	0	0.00%
ворот	(на) вороте	1	100.00%	(на) вороту	0	0.00%
город	(в) городе	112	100.00%	(в) городу	0	0.00%
китель	(на) кителе	2	100.00%	(на) кителю	0	0.00%
корпус	(в) корпусе	3	100.00%	(в) корпусу	0	0.00%
кузов	(в) кузове	7	100.00%	(в) кузову	0	0.00%
купол	(на) куполе	2	100.00%	(на) куполу	0	0.00%
округ	(в) округе	2	100.00%	(в) округу	0	0.00%
омут	(в) омуте	4	100.00%	(в) омуту	0	0.00%
остров	(на) острове	15	93.75%	(на) острову	1	6.25%
песок	(в, на) песке	20	100.00%	(в, на) песку	0	0.00%
погреб	(в) погребе	1	100.00%	(в) погребу	0	0.00%
поезд	(в, на) поезде	5	100.00%	(в, на) поезду	0	0.00%
суд	(в) суде	16	100.00%	(в) суду	0	0.00%
хутор	(на) хуторе	1	100.00%	(на) хутору	0	0.00%
чин	(в) чине	3	100.00%	(в) чину	0	0.00%
шар	(в) шаре	3	100.00%	(в) шару	0	0.00%
шум	(в) шуме	2	100.00%	(в) шуму	0	0.00%

якорь	(на) ягоре	4	100.00%	(на) якорю	0	0.00%
-------	------------	---	---------	------------	---	-------

分類の基準を踏まえれば当然のことではあるものの、ただ1つの例外を除いて/-e/をもつ形態のみが収集された。唯一の例外は остров「島」の前置格第2形であった。この例は以下のような文であった。

(例1)

... казалось , близко подступало все, что было на **острову**, ... (Распутин, В., Прощание с Матерой // Собрание сочинений в 2-х томах, т. 2, стр. 268-286)

「島にあるものすべてが近寄ってきているように感じられた。」

この例文には、文体的な著しい特徴があるようにも思われぬ。остров「島」には/-y/をもつヴァリエントも認められるのかも知れない。³その意味で、островは第1章の分類における③または④のグループに属すべき語である。

3.2 分類②/-y/をもつ形態のみ容認されるか、または/-y/をもつ形態の使用が優勢であるもの

この分類に該当する男性名詞として検索を行った語は以下の51語。

баз, бал, бок, бор, борг, бочок, верх, год, горб, долг, Дон, зад, Клин, кол, кон, Крым, лёд, лоб, луг, мол, низ, нос, паз, пар, пах, перёд, плац, плен, плот, под, пол, полк, порт, пост, пруд, пух, пыл, рай, ранг, ров, рот, след, сук, таз, ток, торг, тыл, угол, чад, шрифт, яр⁴

これらの検索語彙の中から、1例以上の例文を収集できた語について、それぞれの形態別例文数とその比率を以下の【表3-2】に示す。

【表3-2】分類②の語彙のウプサラコーパス検索結果

辞書掲載形	語尾/-e/			語尾/-y/		
	形態	例文数	比率	形態	例文数	比率
бок	(в) боке	0	0.00%	(в) боку	12	100.00%
бор	(в) боре	0	0.00%	(в) бору	1	100.00%
борг	(на) борге	0	0.00%	(на) боргу	25	100.00%
верх	(на) верхе	0	0.00%	(на) верху	5	100.00%
год	(в) годе	3	0.63%	(в) году	470	99.37%
горб	(на) горбе	0	0.00%	(на) горбу	2	100.00%
долг	(в) долге	0	0.00%	(в) долгу	8	100.00%

³ 総語数3500万語のロシア語ナショナルコーパス(内容は20世紀後半から21世紀の文学作品)で на островов を検索したところ、他にもいくつか例文が収集できた。остров のようにウプサラコーパスで収集できた例が著しく少なかった語に関しては、このコーパスを用いて補助データを収集したものもある。以下それらについては脚注に記す。

⁴ これらの語の中には語尾/-e/を付けると他の語との識別が困難になるものがある。

例: пол「床」(Sg.Nom.) — на полу「床の上に」(Sg.Preп.) — о поле「床について」(Sg.Preп.)

поле「野原」(Sg.Nom.) — на поле「野原に」(Sg.Preп.) — о поле「野原について」(Sg.Preп.)

Дон	(на) Доне	0	0.00%	(на) Дону	2	100.00%
зад	(в) заде	0	0.00%	(в) заду	1	100.00%
Клин	(в) Клине	0	0.00%	(в) Клину	1	100.00%
Крым	(в) Крыме	0	0.00%	(в) Крыму	6	100.00%
луг	(на) луге	0	0.00%	(на) лугу	8	100.00%
нос	(в) носе	0	0.00%	(в) носу	9	100.00%
плен	(в) плене	0	0.00%	(в) плену	9	100.00%
пол	(на) поле	0	0.00%	(на) полу	32	100.00%
полк	(в) полке	0	0.00%	(в) полку	5	100.00%
порт	(в) порте	0	0.00%	(в) порту	4	100.00%
пост	(в) посте	0	0.00%	(в) посту	11	100.00%
пруд	(в, на) пруде	1	20.00%	(в, на) пруду	4	80.00%
пыл	(в) пыле	0	0.00%	(в) пылу	1	100.00%
рай	(в) рае	0	0.00%	(в) раю	1	100.00%
рот	(во) рте	0	0.00%	(во) рту	17	100.00%
таз	(в) тазе	0	0.00%	(в) тазу	3	100.00%
ток	(на) токе	0	0.00%	(на) току	1	100.00%
тыл	(в) тыле	0	0.00%	(в) тылу	9	100.00%
угол	(в) угле	0	0.00%	(в) углу	47	100.00%
чад	(в) чаде	0	0.00%	(в) чаду	1	100.00%
яр	(в) яре	0	0.00%	(в) яру	1	100.00%

ここでは 4 例の例外を除いて /-y/ をもつ形態のみが収集された。例外に当たる語尾 /-e/ をもつ形態の 4 例をすべて挙げる。

(例 2)

- Убили? - Еще в том **годе**, - сказала Нюська. - Году, - поправил он машинально, ...
(Лиханов, А., Звезды в сентябре // Благие намерения, М., 1981, стр. 50-66)
「『殺された? まだそんなトチで?』ニューシカは言った。『年でね』彼は機械的に修正した。」

(例 3)

Как будто внутривпартийная жизнь остановилась на 1934 **годе**. ("Pravda", 89-01-02)
「まるで党内の生活が 1934 年で止まってしまったかのように。」

(例 4)

Чего ж там в этом **годе** будет? (Гончаров, Ю., Поживите еще, старики, // Шашка командарма, Воронеж, 1983, стр. 11-25)
「そこで今年何が起こるって言うんだ?」

(例 5)

Но лодок на **пруде** не было. (Паустовский, К., Ильинский омут // Собрание сочинений в

9-ти томах, т. 6, стр. 584-592)

「しかしボートは池になかった。」

(例2)は話し手の間違いを忠実に再現したものであり、筆者による意図的な誤用と断定できる。(例4)も会話の再現なので誤用の可能性もある。しかし(例3)は不可解である。(例3)は新聞記事であり、このような間違いが起こることは考えにくい。その意味で検閲ミスであるかも知れない。⁵(例5)に関しては、*пруд*に/-e/をもつヴァリエントも認められるのかも知れない⁶。

3.3 分類③/-e/をもつ形態と/-y/をもつ形態の両ヴァリエントともに対等に用いられるもの

この分類に該当する男性名詞として検索を行った語は以下の31語。

аэропорт, бережок, век, ветер, вид, газ, гной, зоб, зуб, корм, крюк, лад, лог, мост, мох, мыс, мысок, наст, повод, пот, рой, слой, смотр, сок, стан, тын, хлев, хмель, чай, час, шаг

これらの検索語彙の中から、1例以上の例文を収集できた語について、それぞれの形態別例文数とその比率を以下の【表3-3】に示す。

【表3-3】分類③の語彙のウプサラコーパス検索結果

辞書掲載形	語尾/-e/			語尾/-y/		
	形態	例文数	比率	形態	例文数	比率
аэропорт	(в) аэропорте	0	0.00%	(в) аэропорту	3	100.00%
бережок	(на) бережке	0	0.00%	(на) бережку	1	100.00%
век	(в, на) веке	22	88.00%	(в, на) веку	3	12.00%
вид	(в, на) виде	155	64.58%	(в, на) виду	85	35.42%
газ	(в) газе	2	100.00%	(в) газу	0	0.00%
зоб	(в) зобе	0	0.00%	(в) зобу	1	100.00%
корм	(на) корме	0	0.00%	(на) корму	1	100.00%
крюк	(на) крюке	1	100.00%	(на) крюку	0	0.00%
лад	(в) ладе	0	0.00%	(в) ладу	2	100.00%
лог	(в) логе	0	0.00%	(в) логу	1	100.00%
мост	(на) мосте	0	0.00%	(на) мосту	3	100.00%
мыс	(на) мысе	1	50.00%	(на) мысу	1	50.00%
пот	(в) поте	1	25.00%	(в) поту	3	75.00%
слой	(в) слое	3	100.00%	(в) слою	0	0.00%
сок	(в) соке	0	0.00%	(в) соку	3	100.00%
стан	(на) стане	1	100.00%	(на) стану	0	0.00%

⁵ *годе*の前にあるのが数字(1934)であることが要因であることも考えられるが、*году*で収集された例文の中でも数字を直前に持つものが大半である。

⁶ ロシア語ナショナルコーパスで *на пруде* を検索したところ、他にもう1つ例文が収集できた。

хлев	(в) хлевѐ	0	0.00%	(в) хлеву	4	100.00%
хмель	(в) хмелѐ	0	0.00%	(в) хмелю	3	100.00%
час	(в, на) часѐ	1	14.29%	(в) часу	6	85.71%
шаг	(в, на) шагѐ	1	10.00%	(в, на) шагу	9	90.00%

この分類③における検索結果の特徴は、0%-100%という対立の多さである。ヴァリエントが認められた語のうち、**шаг**についてはGPRR2001に注釈があり、**на каждом шагу**「いたるところで」という慣用句では/-y/をもつ形態が用いられ、**в одном шаге + кого, чего-либо**「～のすぐ近くに」などの用法では/-e/をもつ形態が用いられるという。今回の/-y/をもつ形態の9例はいずれも**на каждом шагу**という慣用句で用いられていた。

また、RG1979だけが指摘した**вид**については手元の辞書によると統語的な制限があり、**в виде**の後ろには必ず生格形による不一致定語が用いられ、また、/-y/をもつ形態は**иметься в виду**「考慮に入れられている」などの慣用句でも用いられるが、その他に単独の**в(на) виду**も用いられるという⁷。

上述の2語に関しては第1章の最後で分類した⑤のグループに分類されるべきものであるかも知れない。

それ以外にヴァリエントが認められたのは**век**「世紀」、**мыс**「岬」⁸、**пот**「汗」、**час**「時間」のみであった。その他の語は/-e/をもつ形態か/-y/をもつ形態が専ら使用されており、RG1980が指摘するような「対等に用いられるもの」とは感じられない結果となった。

それぞれの語について、特定の語尾形態が専ら用いられたものを以下に分類する。

分類④-a	/-e/をもつ形態が専ら使用されたもの
	газ, крюк, слой, стан
分類④-b	/-y/をもつ形態が専ら使用されたもの
	аэропорт, бережок, зоб, корм, лад, лог, мост, сок, хлев, хмель

最後に、この分類に当たる語が文体の差に基づいてそれぞれの形態の使用に変化が見られるかどうかを確かめるために、同じ語をインタビューコーパスで検索して例文を収集した。収集した例文数と比率をアップサラコーパスとインタビューコーパスで比較したものが以下の【表3-4】である。

【表3-4】 分類③の語彙のアップサラコーパス／インタビューコーパス比較結果

辞書掲載形	コーパスの種類	語尾/-e/		語尾/-y/	
		例文数	比率	例文数	比率
аэропорт	アップサラ	0	0.00%	3	100.00%
	インタビュー	0	0.00%	3	100.00%

⁷ Ожегов1988:67

⁸ ロシア語ナショナルコーパスでは **на мысе, на мысу** とともに10例以上の例文が収集できた。

бек	ウブサラ	22	88.00%	3	12.00%
	インタビュー	9	100.00%	0	0.00%

аэропорт については、ウブサラコーパス・インタビューコーパス共に/-y/をもつ形態のみが使用されていた。また、бек についてはインタビューコーパスにおいてむしろ/-e/をもつ形態の使用の方が徹底された。これを踏まえると、分類③に該当する語については文語 книжный, письменный (стиль)と口語 разговорный (стиль)との間にその使用の差が見られないか、または、むしろ口語において/-e/をもつ形態の使用の方が好まれるということになる。⁹

3.4 分類④/-e/をもつ形態と/-y/をもつ形態のどちらか一方に、文体的差異が認められるもの

この分類に該当する男性名詞として検索を行った語は以下の45語。

ад, берег, бой, бред, быт, вал, воз, вольг, глаз, гроб, грунт, дом, дуб, дым, жир, квас, клей, край, лес, мёд, мех, мозг, отпуск, пай, пир, сад, скит, снег, спирт, стог, суп, сыр, терем, тиф, уголок, узел, форт, хол, холод, цех, чан, шёлк, шкаф, шлях

これらの検索語彙の中から、1例以上の例文を収集できた語について、それぞれの形態別例文数とその比率を以下の【表 3-5】に示す。

【表 3-5】 分類④の語彙のウブサラコーパス検索結果

辞書掲載形	語尾/-e/			語尾/-y/		
	形態	例文数	比率	形態	例文数	比率
ад	(в) аде※1	0	0.00%	(в) аду	1	100.00%
берег	(на) береге※1	0	0.00%	(на) берегу	84	100.00%
бой	(в) бое※1	0	0.00%	(в) бою	11	100.00%
быт	(в) быте	0	0.00%	(в) быту	8	100.00%
воз	(на) возе※1	0	0.00%	(на) возу	1	100.00%
глаз	(в) глазе	1	100.00%	(в) глазу	0	0.00%
гроб	(в) гробе※1	0	0.00%	(в) гробу	7	100.00%
дом	(в, на) доме	130	94.20%	(на) дому※2	8	5.80%
дым	(в) дыме	0	0.00%	(в) дыму	7	100.00%
край	(в) крае	14	42.42%	(в) краю	19	57.58%
лес	(в) лесе	0	0.00%	(в) лесу	70	100.00%
мех	(в) мехе	1	100.00%	(в, на) меху	0	0.00%
мозг	(в) мозге	1	10.00%	(в) мозгу	9	90.00%
отпуск	(в) отпуске	3	100.00%	(в) отпуску	0	0.00%
пир	(в, на) пире	0	0.00%	(в, на) пиру	1	100.00%

⁹ ただし、新聞に掲載されたインタビュー記事が本当に口語的であるかどうかには議論の余地が残る。

сад	(в) саде※1	0	0.00%	(в) саду	31	100.00%
скит	(в, на) ските	1	100.00%	(в, на) скиту※1	0	0.00%
снег	(в, на) снеге	1	4.17%	(в, на) снегу	23	95.83%
стог	(в, на) стоге	2	100.00%	(в) стогу	0	0.00%
уголок	(в) уголке	7	87.50%	(в) уголку	1	12.50%
узел	(в, на) узле	1	100.00%	(в, на) узлу	0	0.00%
холод	(в, на) холоде	1	50.00%	(на) холоду	1	50.00%
цех	(в) цехе	7	87.50%	(в) цеху	1	12.50%
чан	(в) чане	1	100.00%	(в) чану	0	0.00%
шкаф	(в, на) шкафе※1	0	0.00%	(в, на) шкафу	5	100.00%

※1 RG1980において擬古的 *устарелый (стиль)* であると指定されている形態

※2 RG1980において詩的, または, 会話 *разговорный (стиль)*・俗語的 *простречный (стиль)* であると指定されている形態

この分類④では/-e/をもつ形態が文体的に擬古的であると指摘されている語の例文は, ウプサラコーパスからは収集されなかった。

この分類においても, 0%–100%というヴァリエントの対立が目立つ。もちろん, /-y/をもつ形態の方が擬古的であるとされている点がこの分類の中にあつて特異な語にあたる *скит* をはじめ, 収集された例文が1例である語については各形態の嗜好について傾向を述べるのは危険ではある¹⁰。しかし, このように明確な対立が多く見受けられることは, 各語尾が文体的特徴によって区別されるというよりも, むしろ語それぞれにどちらの形態が用いられやすいかが決まっているのではないかと思われる。

ここでも, この分類に当たる語が文体の差に基づいてそれぞれの形態の使用に変化が見られるかどうかを確かめるために, 同じ語をインタビューコーパスで検索して例文を収集した。収集した例文数と比率をウプサラコーパスとインタビューコーパスで比較したものが以下の【表 3-6】である。

【表 3-6】分類④の語彙のウプサラコーパス／インタビューコーパス比較結果

辞書掲載形	コーパスの種類	語尾/-e/		語尾/-y/	
		例文数	比率	例文数	比率
берег	ウプサラ	0	0.00%	84	100.00%

¹⁰ ロシア語ナショナルコーパスでは *в скиту* の例文が10例も収集された。その一方で *в (на) ските* は例文が収集されず, RG1980にあるような擬古的という指摘は当たらないかもしれない。また, その他の例文収集数が少なかった *глаз, мех, отпуск, стог, узел, чан* をロシア語ナショナルコーパスで再検索したところ, *глаз, мех, стог* については, /-y/をもつ形態の例文数が/-e/をもつ形態の例文数を上回った。*отпуск, чан* では/-y/をもつ形態の例文数が0ではないものの, /-e/をもつ形態の例文数を上回ることにはなかった。*узел* に関しては/-y/をもつ形態の例文数が0であった。

	インタビュー	0	0.00%	2	100.00%
быт	ウプサラ	0	0.00%	8	100.00%
	インタビュー	0	0.00%	4	100.00%
гроб	ウプサラ	0	0.00%	7	100.00%
	インタビュー	1	16.67%	5	83.33%
дом	ウプサラ	130	94.20%	8	5.80%
	インタビュー	28	100.00%	0	0.00%
край	ウプサラ	14	42.42%	19	57.58%
	インタビュー	4	100.00%	0	0.00%
лес	ウプサラ	0	0.00%	70	100.00%
	インタビュー	0	0.00%	1	100.00%
отпуск	ウプサラ	3	100.00%	0	0.00%
	インタビュー	2	100.00%	0	0.00%
сад	ウプサラ	0	0.00%	31	100.00%
	インタビュー	0	0.00%	5	100.00%
шкаф	ウプサラ	0	0.00%	5	100.00%
	インタビュー	0	0.00%	2	100.00%

гроб についてはインタビューコーパスにおいて/-e/をもつ形態の使用が1例収集され、専ら/-y/をもつ形態が使用されるというウプサラコーパスのデータと相違を見せた。また、ウプサラコーパスにおいてヴァリエントの存在が認められた дом, край については、インタビューコーパスにおいて専ら/-e/をもつ形態が使用されていた。それ以外の語についてはウプサラコーパス・インタビューコーパス間でのデータに相違は見られなかった。

これらを踏まえると、分類④に該当する語についても文語と口語との間にその使用の差が見られないか、または、むしろ口語において/-e/をもつ形態の使用の方が好まれるということになり、RG1980の「語尾/-y/をもつ形態は文体的に中立であるか、会話・業界用語・専門用語などにおいて用いられる」という指摘は、少なくとも会話について当てはまらないことになる。

4. 結論と今後の展開

今回の分析を通じて何よりも明らかになったのは、前置格第2形を取り得る男性名詞のうち、前置格第2形、つまり語尾/-y/をもつ形態が語尾/-e/をもつ形態のヴァリエントとして機能している語が少ないということである。このことは各々の語の語尾別使用比率が0%–100%になった語が多かったことから導き出せる。つまり、男性名詞のうち前置格第2形を取り得るものは、その形態の選択において従来の先行研究による指摘ほど多くのゆれがあるわけではなく、前置詞 в, на との結合においてほぼ一貫して前置格第2形を用いていることになる。RG1979が指摘したような、「語尾/-y/を持つものが有標 маркированные

項、語尾/-e/を持つものが無標 *немаркированные* 項」という命題も一概には正しいと言えなさそうである。

第1章の最後において先行研究に則り便宜的に示した、形態選択上の語の4分類は大いに見直されなければならないことになる。また、GPRR1976のように語尾/-e/をもつ例と語尾/-y/をもつ例との比率を漠然と示しても、あまり意味をもたないということになる。

今後、用法 *usage* の観点からの前置格第2形の使用に関する説明は、先行研究とは大きく異なるものになるかもしれない。

今回の研究においてやり残したことに、男性名詞に形容詞などの一致定語が結合する場合としない場合との前置格形の語尾の選択に関する問題がある。しかし、これも多くの例文を見て、先行研究の「語尾/-e/をもつ形態が好まれる」という指摘もあまり当てはまらないのではないかと、という感触を得ている。

今回は形態論の観点からのみの分析になってしまったが、今回収集した例文を統語的に分析することの必要性を感じた。そうした分析から今回のヴァリエントに関する考察にも影響を与えうる要因が発見されるかも知れない。

また、いつもと同じ課題になってしまうが、対象語の検索後に収集できる例文の少なさという統計学的な課題は今回も解決できなかった。しかし最近ロシアでも大規模のロシア語コーパスを作成していたり、優秀な形態解析プログラムも作成されたりし始めている。こうした技術の今後の発展にも注目しつつ、この研究を続けていきたい。

参考文献

① 辞書

Ожегов, С.И.1988: *Словарь русского языка*. Изд. 20-е, стереотипное. Москва.

Зализняк, А.А.2003:*Грамматический словарь русского языка*. Изд. 4-е.Москва.

② 文献

Граудина, Л.К. и др. 1976: *Грамматическая правильность русской речи*. Москва. [本文中では GPRR 1976 と略記]

Граудина, Л.К. и др. 2001: *Грамматическая правильность русской речи*. Москва. [本文中では GPRR 2001 と略記]

Русская грамматика. I. 1980. Академия Наук СССР, Москва. [本文中では RG1980 と略記]

Русская грамматика. I. 1979. Praha. [本文中では RG1979 と略記]

BIBER, Douglas and Reppen Randi and Conrad Susan (齊藤俊雄・山崎俊次・梅咲敦子・朝尾幸次郎・新井洋一・塚本聡訳) 2003: 『コーパス言語学』, 南雲堂, 東京. (原題 *Corpus Linguistics: Investigating Language Structure and Use*, Cambridge U.P. 1998)

COMRIE, Bernard 1989: *Language universals and linguistic typology*, Second edition, Chicago.

伊藤雅光 2002: 『計量言語学入門』, 大修館書店, 東京.

小林潔 2003: 「ドイツ・チュービンゲン大学のロシア語コーパス」『ロシア語研究』16:64-85

③ インターネット・ホームページ (2005年5月1日現在)

<http://www.slaviska.uu.se/korpus.htm> (ウプサラ大学)

<http://www.sfb441.uni-tuebingen.de/b1/en/korpora.html> (テュービンゲン大学)

<http://www.ruscorpora.ru> (ロシア語ナショナルコーパス)

④ 研究会発表

水野晶子 2005: 「ロシア語研究における WWW の活用の可能性を考える ―Яndex, および Google の詳細検索の方法とその活用例―」 2005年3月9日 ロシア語コーパス研究会
於：神奈川大学